

五十嵐沙千子先生の「哲学カフェ」を実施しました。

本校では、SSHの取組の1つとして「サイエンスカフェ」を実施しています。今年度、第4回サイエンスカフェは、10月12日(木)の放課後2時間、『哲学カフェ～哲学の先生と語ろう“生きるって何だろう!?”～』でした。

講師は、筑波大学人文社会系准教授の五十嵐沙千子先生です。五十嵐先生には、私の推薦で、今年度から本校のSSH運営指導委員になっていただき、本日は『哲学カフェ』を実施していただきました。参加した生徒は、1年次(中1)～4年次(高1)の希望者23名です。告知からわずか2日間で募集定員に達したそうです。

生徒たちは、楽しく、ニコニコしながら哲学していました。生徒たちにとって、とても刺激的で「幸せな時間」だったと思います。

五十嵐先生からは、以下のような感想をいただきました。

中学1年生から高校生までのみなさんで哲学をしたアツツというまの2時間、最後のチェックアウトの時の生徒たちの真剣な、真剣な、「時間がもっとあってほしい」「これで終わるのは嫌だ」という発言にも、熱い熱い顔々にも、胸がいっぱいになりました。わたしも本当に、終わるのが忍びないほどの時間、素晴らしい生徒さんたちとの素晴らしい時間でした。

私は、これからの教育には「哲学」がとても大切だと考えています。物事を深く考えることのできる生徒を育てたいと考えています。

去る9月29日(金)の前期終業式では、哲学者苦野一徳先生の話をしました(ドリーム第281号参照)。そして、今回は五十嵐沙千子先生のお話を聴くことができました。

私は、このお二人が、「日本の教育の未来」を哲学的に支えてくれる予感がしています。皆さんも、このお二人の発言・発信に注目して欲しいと思います。

